

2025 年 9 月 11 日

各 位

会 社 名 グラントマト株式会社
(コード番号 7137 TOKYO PRO Market)
代表者名 代表取締役社長 南條 浩
問合せ先 取締役管理本部長 遠藤誠也
電話番号 0248-94-2014
(URL <https://www.grantomato.jp/>)

通期業績予想の修正（上方修正）に関するお知らせ

当社は、2025 年 9 月 11 日開催の取締役会において、2024 年 10 月 11 日に公表した 2025 年 8 月期の通期業績予想を修正することとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2025 年 8 月期通期業績予想数値の修正（2024 年 9 月 1 日～2025 年 8 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	14,908	278	253	168	84.13 円
今回修正予想(B)	17,745	726	696	456	221.02 円
増 減 額(B－A)	2,837	448	443	288	—
増 減 率(%)	19.0%	161.3%	175.1%	171.4%	—
(参考) 前期実績 (2024 年 8 月期)	14,541	340	329	270	138.87 円

2. 修正の理由

通期業績における売上高については、当社の主力サービスであるストア販売部門は、営業スタイルのレベルアップと商品力の向上と活発な営業展開により、売上高は堅調に推移しました。

農産流通部門は、米の集荷数量拡大に向け主力地盤である福島県の会津・県中・県南エリアの強化に加え、北関東茨城県西地区・栃木地区の強化を行い同エリアへの積極展開を行い、保管と精米設備投資による生産能力と品質の向上、ネット販売のプロモーションの実施により、インターネットの米販売が大きく拡大しました。また、国内個人の消費増と外食需要増加に加え、地震や台風などによる個人備蓄が見られ、業務用米の需要も増加したことから、流通・取引価格は上昇し、販売及び収益は大きく伸長しました。

FDC・インターネット販売部門は、消費財や農業関連商品等の価格の上昇はあった一方で、中期経営計画に基づく売価統制を強化したことにより、販売は一定程度減少しましたが、利益改善は順調に進んでおります。

収益面においては、従業員の QOL 向上の為に積極的な賃上げを行い、また設備投資を行い生産性が向上したことが好影響をもたらしました。具体的には適正売価の推進並びにプライベート商品開発と販売が増大、精米工場の効率的な運用と出荷体制により顧客満足度の向上、自社生産種苗の魅力的なアイテム追加と施設増強による生産量の増大、新事業の農業生産支援事業が順調に拡大したこともあり、生産から販売までの垂直統合がさらに進化し、当初予想を上回る収益を確保することができました。

※上記業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上